

# 古文書解読「銚子川に舟渡し」

# 熊野古道の川舟復元

完成した川舟と船大工の谷上さん(右)、田上理事長(左) 鷺市の熊野古道センターで



## 紀北町のNP〇 26日に海山区で進水式

【北牟婁郡】紀北町海山区船津の特定非営利活動法人(NPO法人)「ふるさと企画舎」(田上幸理事長)は十九日、尾鷲市の県立熊野古道センターで、完成した川舟を報道関係者に披露した。二十六日に海山区便ノ山の銚子川で進水式をする。

完成した川舟は、六、七人乗りで、全長四・五尺、幅一・七尺、深さ〇・三五尺。百年生の熊野スギを使って南牟婁郡紀宝町の船大工・谷上嘉一さん(笑)が建造した。建造費五十万円。

古文書を解読してかつて便ノ山地区の銚子川に舟渡しが

あったことが分かり、昨年から川舟復元の計画を進めてきた。田上理事長は、町おこしの一環として、月一回から運航したいと話している。

谷上さんは、三十年前に峡で舟造りを始めて、熊野川流域で唯一の船大工となり、古くからの川舟文化を継承してこられた。